

企業価値の向上と

持続可能な社会の

実現を目指して

“サステナブル経営の強化”

気候変動や労働人口の減少、人権・格差など、社会全体が喫緊の課題に直面している今、私たち企業もこれらの課題にしっかりと向き合い、課題解決に参画する必要性が高まっています。ヤマトグループは、持続可能な未来を切り拓く将来の姿として掲げた環境と社会の各ビジョンおよび2050年の温室効果ガス(GHG) 排出実質ゼロなど長期目標の達成に向け、サステナブル経営を推進しています。



環境事例 1

営業所の屋根に設置した
太陽光パネル



エネルギーマネジメントを行うモデル店として本格稼働 ～太陽光発電設備や蓄電池を導入し、再生可能エネルギーを活用～

ヤマトグループは、2050年に温室効果ガス自社排出量実質ゼロの実現に向けて、2030年までにEV20,000台の導入、太陽光発電設備810基の導入などの目標を掲げています。

ヤマト運輸は2023年10月、八幡営業所(京都府)の集配車両をすべてEV(32台)とし、再生可能エネルギー由来電力を活用するモデル店として本格稼働させました。太陽光発電設備と蓄電池を導入し、日中発電した電力でEV充電や建屋電力の一部※を賄うほか、関西電力グループの電力平準化システムなどを活用し、夜間のEV一斉充電による電力使用ピークの偏りを緩和するなど、エネルギーマネジメントを行うことで、サステナブルな物流の実現に貢献します。

※太陽光発電で賄いきれない電力分は、関西電力株式会社の「CO₂フリー電力」を購入しています。



集配業務に使用するEV



環境事例 2

新型2トンEVトラック
「eCanter」



新型2トンEVトラック「eCanter」約900台を導入

ヤマト運輸は、温室効果ガスの排出量削減に向けて小型トラックを中心にEVの導入を進めており、2023年9月には、三菱ふそうトラック・バス株式会社が開発した新型2トンEVトラック「eCanter」を約900台、全国への導入を開始しました。

本車両は、GHGを排出せず、振動や騒音が少ない環境への

配慮や、集配業務で働く社員の安全性や

作業効率も考慮した仕様となっています。

今後も、パートナー企業との連携を進めながらサステナブルな物流の実現に取り組んでいきます。



社会事例 1

サツドラホールディングスとヤマト運輸が連携し、北海道が抱える社会課題の解決を目指す

北海道札幌市に本社を置くサツドラホールディングス株式会社(以下「サツドラHD」)とヤマト運輸は、2023年7月、パートナーシップ協定基本合意書を締結し、人口減少や少子高齢化に加え、広大な土地や積雪の影響により物流網の維持が困難になるなど、北海道が抱える社会課題の解決や持続可能な地域社会の実現に向けた取組みを展開しています。

これまでも両社はそれぞれの強みを活かし、サツドラHDのグループ会社である株式会社サツポロドラッグストア(以下「サツドラ」)店舗での荷物の受け取りサービスや、サツドラ店舗でのお買い物をご自宅まで配送*するサービスを展開してきました。

また、お客様の買い物支援としてヤマト運輸営業所におけるサツドラのサテライト店舗の設置や、宅配集配車両を利用した移動販売などの実証実験なども行っています。

今後も、ヤマト運輸の輸配送ネットワークを活用することで、生鮮食品を取り扱うサツドラ店舗あての精肉の納品や、サテライト店舗への多頻度小ロット納品など、地域住民の皆様の充実した買い物環境の提供に貢献していきます。

*医薬品は除く。

サツドラとヤマト運輸の連携で地域住民の皆様へ充実した買い物環境を提供

精肉の納品

※精肉の納品フローでは、サツドラ以外の法人の荷物を混載して集荷・配送を行います。



サテライト店舗への納品

※ヤマト運輸奥尻営業所内にあるサツドラのサテライト店舗へは、ベースを中継せずに納品されます。



2023年8月に導入した新型移動販売車と車内の様子

冷凍商品の移動販売も可能に



乗り込みやすいステップ



レジも車に積んで走ります。



車内にはサツドラの商品がたくさん並んでいます。



社会事例 2

「北海道ボールパークFビレッジ」と街が一体となった持続可能な地域社会の実現に貢献

株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテインメントとヤマト運輸は、2023年3月、物流パートナーシップ契約を締結し、「北海道ボールパークFビレッジ(以下「Fビレッジ」)」および開閉式屋根付き天然芝野球場「エスコンフィールドHOKKAIDO」に最適な物流サービスを構築する取組みを開始しています。

ヤマト運輸は、Fビレッジ専用の物流スキームの構築と物流の一括管理を行うことで、各施設やテナントの業務にあわせカスタマイズした物流サービスの提供や、来場されたお客様により快適な観光や観戦をサポートする物流サービスなどを提供しています。今後もテクノロジーの導入による新しい物流サービスの創造や、環境に配慮した新しい運び方の検証を通じて、Fビレッジの価値向上と、地域に根ざした物流サービスの提供に向けた取組みを推進していきます。



「北海道ボールパークFビレッジ」と開閉式屋根付き天然芝野球場「エスコンフィールドHOKKAIDO」



インフォメーション

統合レポート2023発行



<< 詳細はこちらから
 統合レポート | ヤマトホールディングス株式会社
<https://www.yamato-hd.co.jp/investors/library/annualreport/>

クロネコ ファミリー コンサート

音楽宅急便

「クロネコ ファミリーコンサート」
アーカイブ配信のご案内

今年も昨年に続き有観客での開催に加え、アーカイブ配信にて「本物の、いい音楽を年齢や地域を越えて」皆様へお届けしています。

音楽宅急便2023「クロネコ ファミリーコンサート」
 今年のテーマは「踊りの音楽」♪
 ヤマトグループ公式YouTubeチャンネルでアーカイブ配信中



<< 詳細はこちらから
<https://www.yamato-hd.co.jp/csr/society/education/concert.html>